

情報提供日	2026 年(令和 8 年)1 月 27 日
問い合わせ先	消防局総務課 (担当 藤原・宮丸)
	TEL：078-918-5941 内線：7478

報道機関各位

人命救助活動を行った方に感謝状を贈呈

2025 年 12 月 6 日（土）に発生した救急事案において、迅速な救命処置を行った消防協力者に対し、消防局長から感謝状を贈呈いたします。

記

- 1 贈呈日時 2026 年 2 月 4 日（水） 午前 10 時 30 分から
- 2 場 所 明石市消防局 4 階会議室（明石市藤江 924-8）
- 3 対 象 者 北村 沙歩（きたむら さほ） 様
中塚 綾 （なかつか あや） 様
中村 昇一（なかむら しょういち） 様

【事案概要】

- 1 発生日時 2025 年 12 月 6 日（土） 午後 17 時 55 分ごろ
- 2 発生場所 明石市大明石町 1 丁目 1 番 JR 明石駅北口歩道
- 3 発生状況 歩行中に突然倒れたもの。
- 4 傷 病 者 50 歳代 女性
- 5 救 助 者 北村 沙歩 様（女性・28 歳） 保育士
中塚 綾 様（女性・29 歳） 看護師
中村 昇一 様（男性・40 歳） 会社員

6 活動状況及び経過

上記場所を歩行中の女性が、突然後方へ倒れたところを北村沙歩氏が目撃し、119 番通報を実施中に、女性が急に意識を失ったものです。

近くに居合わせた男性（立ち去ったため詳細不明）と近くの交番から駆け付けた警察官が協力して気道確保と胸骨圧迫の処置を実施しています。

その後、中塚綾氏と中村昇一氏が駆け付け、胸骨圧迫の処置を交代しながら継続。警察官が持ってきた AED を中塚綾氏と中村昇一氏で協力して実施し、さらに胸骨圧迫の処置を継続中に、倒れていた女性が目を開けて脈拍を確認できるようになった時に消防機関が到着しました。

救急隊が医療機関へ搬送時には車内で会話ができる状態にまで回復し、その後、後遺症なく退院されました。

後遺症なく退院できた最大の要因は、早期の通報と救命処置です。

目の前で起きた事に対して、迅速に行動された事をたたえ、消防協力者として表彰するものです。